

Sustainability Pre Round Table

企業の脱炭素とエネルギー確保：市場型アプローチの可能性

ファンド型アプローチの日本企業への応用と次のアクション



齋藤 慶子

Akari Capital 代表取締役社長

日本の再生可能エネルギーの進まない現状



後藤 敏彦

サステナビリティ日本フォーラム
顧問

3月9日 Mon

16:00-17:45

会場： NEC芝倶楽部
(港区芝5-21-7)

主催： サステナビリティ日本フォーラム

定員：12名（先着順）

*ラウンドテーブルの
オンライン参加受付はございません

*チャタムハウスルールの下、
開催します

費用：無料

日本では再生可能エネルギー比率が約25%まで上昇した一方、G7諸国の中でも化石燃料、とりわけ石炭への依存度が高く、電力部門の脱炭素化は依然として課題です。エネルギー安全保障の観点で原子力も重視される中、需要増への対応、タイムラインや供給の柔軟性を踏まえると、再生可能エネルギーの導入拡大は不可欠です。

本ラウンドテーブルでは、海外の市場型アプローチの先進事例や海外大手企業による日本での投資・調達動向を窓口を担う齋藤慶子さんに議論の口火を切っていただきます。サステナビリティ日本フォーラムとしてカーボンニュートラル実現に向けた阻害要因・推進要因への理解を深めるとともに、参加者にとっても、海外資本による日本での調達戦略や投資意欲を直接知る機会は有益なものとなることが期待されます。

少人数制です。ぜひご参加ください！

司会進行：サステナビリティ日本
フォーラム 事務局次長 櫻田 彩子



お申し込み：氏名・ご連絡先をご記入のうえ、下記メールアドレスまでお申し込みください。

info@sustainability-fj.org

お申し込み〆切：2025年3月5日（木）（〆切厳守）